

## 仁王門の文化財指定

境内の堂宇の中で江戸時代の建物は仁王門のみである。仁王門の建立年代は、斗栱、虹梁などの絵様の様式から判断して17世紀中頃のものと考えられていたが、仁王像の制作年代を示す木札に「(表) 上官伝太子宗流七拾二世 攝州四天王寺 藤原大佛師法橋 国見大新口長誉宗伝 (裏) 丙寛丈六年 次男大佛国見左近 午九月吉日 京誉康盛造立」とあり、さらにこの度の修理により大斗から「寛文六年之比□奉加仕候而建立 仕候同九年七月□取掛申候 大乘院法印□運七十九弟子源祐□□ 吉祥院法印源栄四十六弟子鎮栄廿 常光院 祐海三十一」、木鼻から「仁王門 寛文九己酉天七月初頃□ 作事」とする墨書が発見されたことから、寛文6年(1666)から同9年(1669)頃にかけて造営されたことが判明した。

修復前



修復後

平成22年3月8日落慶



以下、知多市文化財指定書から原文のまま引用

1. 番号 知文保指第 37 号
2. 種別 建造物
3. 名称 法海寺仁王門
4. 数量 1 棟
5. 日付 平成 20 年 12 月 15 日
6. 徴証、伝説、作者等

仁王門の建立年代は、斗栱（ときょう）、虹梁（こうりょう）、木鼻（きばな）などの絵様の様式から判断して十七世紀の後半と認められる。また、仁王尊像の制作年代を示したとされる木札に「(表) 上宮伝太子宗流七拾二世攝州四天王寺藤原大佛師法橋国見大新口長誉宗伝 (裏) 丙寛文六年次男大佛国見左近午九月吉日 京誉康盛造立」とあることから、仏像造立とされる寛文 6 年(1666 年) 頃に造営されたものと考えられる。

7. 製作年代または時代 寛文 6 年 (1666 年) 頃
8. 伝来その他参考となるべき事項

平成 20 年 7 月 30 日に愛知県文化財保護審議会建造物部会部会長 杉野丞（のぼる）氏（愛知工業大学都市環境学科教授）の調査を受け、「県内において八脚門として本格的に建てられたものでは、美和町の蓮華寺山門(1643 年)、東海市の観福寺仁王門(1674 年)、豊橋市の東観音寺山門(1680 年)、知多市の栖光院(せいこういん)山門(江戸時代中期)などがあるが法海寺仁王門は、これらの建物と比較しても伝統的な技法を用いた正統的な門であり、建築的な質も高く、虹梁、斗栱、臺股（かえるまた）などの細部意匠も優れている。」との判定を受ける。